

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	691900039
法人名	医療法人社団 公徳会
事業所名	グループホーム ぬくもりの家
訪問調査日	平成 20 年 12 月 3 日
評価確定日	平成 21 年 2 月 4 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	691900039		
法人名	医療法人社団 公徳会		
事業所名	グループホーム めくもりの家		
所在地 (電話番号)	山形県南陽市柵塚929番地 (電話) 0238-43-4171		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地		
訪問調査日	平成20年12月3日	評価確定日	平成21年2月4日

【情報提供票より】(平成20年11月4日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 4 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7 人, 非常勤	人, 常勤換算 7 人

(2) 建物概要

建物形態	併設/ 単独	新築/改築
建物構造	木造平屋 造り	
	1階建ての	1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	49,200 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	380 円	昼食 500 円
	夕食	500 円	おやつ (昼食に含まれる) 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(11月4日現在)

利用者人数	8 名	男性	1 名	女性	7 名
要介護1	3 名	要介護2		4 名	
要介護3	1 名	要介護4		0 名	
要介護5	0 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 84 歳	最低 73 歳		最高 98 歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤病院、トータルヘルスクリニック歯科診療所
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

家族や地域との交流を大切にしながら、家庭的な雰囲気や環境の中で、「めくもり」に支えられたサービス提供が行われています。利用者を尊重し、楽しくその人らしく過ごせるよう、施設長はじめ職員が協力して取り組みを進めてきており、また、敷地内にある同じ法人が運営する病院や関連施設とも連携することで、利用者一人ひとりが必要な医療や支援を受けることができるホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>利用者の暮らしぶりや健康状態は個別に毎月文書で報告されており、また、年3回発行される広報誌でも利用者の生活の様子や行事、職員の異動などが伝えられている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価には職員全員で取り組んでおり、評価の意義も理解されている。また、前回評価の結果を踏まえた改善についても全職員で話し合い、サービスの質の向上につなげている。</p>
	②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では事業の活動内容やサービスの実際についての報告、外部評価の報告等を行っている。また、参加利用者からも意見や質問も出され、改善に活かしている。会議で出された意見をもとに、家族との食事会や委員とのお茶会も行われており、意見交換や交流を行いながらサービス向上につなげている。</p>
重点項目	③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見や不満、苦情の窓口については利用開始時に重要事項説明書で家族に伝えられており、また、意見箱を設置したり運営推進会議や面会時にも声掛けをして、できるだけ多くの意見や要望等を引き出して運営に反映させるようにしている。</p>
重点項目	④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の敬老会への参加やお茶会、踊りのボランティア、高校生の体験実習の受け入れなど、地域とのかかわりを大切にしている。また、法人で行う夏の大花火大会は地域のイベントとなっており、利用者、家族、地域の人々と交流できる楽しみの一つにもなっている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に、地域密着型サービス事業所としての独自の理念を職員全員でつくり上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念と理念に添った基本方針が明示され、会議や処遇検討会議で確認しながら理念の共有と実践に向け取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の敬老会への参加やお茶会、踊りのボランティア、高校生の体験実習の受け入れなど、地域とのかかわりを大切にしている。また、法人で行う夏の大花火大会は地域のイベントとなっており、利用者、家族、地域の人々と交流できる楽しみの一つにもなっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価には職員全員で取り組んでおり、評価の意義も理解されている。また、前回評価の結果を踏まえた改善についても全職員で話し合い、サービスの質の向上につなげている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では事業の活動内容やサービスの実際についての報告、外部評価の報告等を行っている。また、参加利用者からも意見や質問も出され、改善に活かしている。会議で出された意見をもとに、家族との食事会や委員さんのお茶会も行われており、意見交換や交流を行いながらサービス向上につなげている。		

山形県 グループホームぬくもりの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所で解決できないことや不明なことがあれば、市役所に電話や出向いたりして、相談や情報交換を行っており、市の担当者とともにサービスの向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや健康状態は個別に毎月文書で報告されており、また、年3回発行される広報誌でも利用者の生活の様子や行事、職員の異動などが伝えられている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や不満、苦情の窓口については利用開始時に重要事項説明書で家族に伝えられており、また、意見箱を設置したり運営推進会議や面会時にも声掛けをして、できるだけ多くの意見や要望等を引き出して運営に反映させるようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は必要最小限の異動となっており、職員が異動した場合には利用者にもきちんと話をし、また、引き継ぎも十分に行ってダメージを防ぐよう配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修への積極的な参加や取り組みが進められ、ホーム独自の研修計画の作成、研修開催、資格取得の支援、研修報告の復命書作成、伝達研修などが行われている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム置賜ブロック会に参加し、勉強会や情報交換等を行いながらサービスの向上に取り組んでいる。また、市内のグループホームとも必要時に連絡を取り合っており、相互訪問や意見交換などについても検討されている。		

山形県 グループホームぬくもりの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	野菜づくりや干し柿づくり、昔ながらの風習や調理のコツを利用者に教えてもらいながら、利用者と職員が共に喜んだり楽しんだりできる関係が築かれている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で、利用者一人ひとりの思いや意向を把握しており、言葉にならないような気持ちについても表情や言動から把握して、本人本位に検討されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意見や要望を聞きながら、処遇検討会議で十分に話合って介護計画が作成されており、また、介護計画は本人、家族にも提示され、同意が得られている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の実施状況や取り組みの効果を評価しながら介護計画の見直しが行われている。また、状態変化があった時には、本人や家族、関係者とも話し合い、介護計画の見直しを行っている。		

山形県 グループホームぬくもりの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	同法人の病院(精神科、内科、歯科)の受診は職員が 通院介助を行い、外部のかかりつけ医への受診は家族 が行っている。また、緊急時は同法人病院の当直医を 通して対応されており、家族とも情報を共有しながら、 適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	「重度化した場合の対応、終末期ケア対応指針」を作 成し、本人、家族に説明して同意を得ている。また、状 態が変化した場合は、本人、家族、かかりつけ医と相談 して方針を共有しており、同じ敷地内の病院や関連施 設といつでも連携がとれる体制がつけられている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	個人の誇りやプライバシーを損ねることのないよう、言 葉かけや対応に気をつけている。守秘義務の徹底を図 り、個人情報は施錠して管理している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の気分や体調、希望に配慮しながら、起床、入 浴、散歩、役割分担など、柔軟な対応と必要な支援が なされている。		

山形県 グループホームぬくもりの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望を取り入れながら献立を作成し、買い物から準備、片付けを利用者と職員と一緒にしている。また、外出時の外食、回転寿司へ出かけるなど、食事をより楽しめるような支援も行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後の入浴が中心であるが、利用者の希望に応じいつでも入浴できるようにしている。また、同法人内には温泉施設もあり、利用することが可能となっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	書道、食器拭き、洗濯物たたみ、野菜づくり、干し柿づくりなど、一人ひとりの生活歴や得意なことを活かした役割や楽しみごとの場面づくりをしながら、利用者感謝の言葉を伝えるようにしている。また、散歩や買い物などで気晴らしができるよう外出支援も行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩などの日常的な外出支援に加え、四季折々の外出を通して、楽しみながら気分転換が図れるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者の状態に応じた声掛けや付き添いをしながら、鍵をかけない自由な暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人の避難訓練が年2回、ホーム独自の避難訓練も年2回実施されており、夜間を想定したホームの訓練も行われている。また、運営推進会議での緊急時体制の説明や協力依頼、法人内での連携体制づくり、備蓄にも取り組んでいる。		

山形県 グループホームぬくもりの家

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取状況を把握し、必要に応じて医師にも相談しながら対応や支援を行っており、また、献立内容については、同じ法人の管理栄養士から定期的にアドバイスを受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	光やテレビの音量、温度や湿度は利用者が快適に過ごせるよう調整され、居間にはコタツもあり、季節に配慮した環境づくりが行われている。また、中庭は築山(つきやま)になっており、散歩をしたり季節の花や四季の移り変わりを楽しむことができる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や家族の写真が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるよう配慮されている。		